



知るのは、こわい。
知らないのは、もっとこわい。
グリーンルーペ
がんを「知る」プロジェクト

あなたが、大切な人が、がんになったとき。

2018年9月1日（土）10:00-18:00
越谷レイクタウン kaze 翼の広場

グリーンルーペプロジェクト 第1弾 キックオフイベント 開催報告書

共催：認定NPO法人 希望の会
NPO法人 肺がん患者の会 ワンステップ
一般社団法人キャンサー・ペアレンツ

セッション共催：中外製薬株式会社

後援：厚生労働省、埼玉県、越谷市、国立がん研究センター東病院
埼玉県理学療法士協会、彩の国東大宮メディカルセンター

広告協賛：アッヴィ合同会社、アフラック生命保険株式会社
エイペックスメディカル株式会社、いこいの村ヘリティジ美の山

展示協賛：日本イーライリリー株式会社

協力：ダカラコソクリエイト

特別協力：株式会社アンティル



グリーンルーペ・プロジェクトとは

「自分はがんとは関係ない」と思っていませんか？

がんは国民のふたりにひとりがかかる、子どもにも、若い世代にも発症する病です。

ある日突然、がんと言われて、日常が180度変わってしまった…。世の中には色々な情報が溢れています、何が正しいのかわからず、途方に暮れてしまった…。

この手強い病の体験者だからこそ、後悔しないように、知っているだけでもおトクな知識を伝えられる、と思います。

知るのはこわい…でも、知らないことは、もっとこわい。

知ることは、必ずあなたの力になります！

グリーンルーペは、がん体験者や家族が「がんになる前に知っておきたかった！」を発信するプロジェクト。がんをもう少し近くで見るためのみなさんの”虫めがね”になれば嬉しいです。

ちょっと、のぞいてみてください。



Green Loupe

がん体験者、家族、遺族から一般の方々に向け発信する、がん啓発プロジェクト。

がんを告げられた瞬間、感じた不安、孤独、恐怖。

きっと、今日も、あの時の自分たちと同じ暗闇を感じている人がいる。

数年が経って、私たちは、あの時より多くを知ったけれど、今でも平気なわけじゃない。

社会の理解を広げることは、きっと自分たちのこれからにも繋がる。

それを形にするにはどうする？

初めて、プロジェクトの構想を語り合ったのは2018年、2月のことでした。

認定NPO法人希望の会
理事長 轟 浩美（遺族）



NPO法人肺がん患者の会
ワンステップ
理事長 長谷川 一男（患者）



一般社団法人
キャンサーペアレンツ
代表理事 西口 洋平（患者）



講演

「後悔しない、納得のいく医療を受けるために知っておくべきこと」

10:00~10:50



講師: 大野智 (島根大学医学部附属病院 臨床研究センター 教授)

【セッション共催: 中外製薬株式会社】

*NHK 総合「あさイチ」「クローズアップ現代」に出演!

朝日新聞医療サイト「アピタル」に連載もしている、今、注目の医師。

「がん」と診断された時、誰しも不安に襲われたり、将来のことについて悩んだりすると思います。そんなとき、気をつけるべきポイントをわかりやすく解説します。また、医療者とのコミュニケーションにおけるコツについても紹介します。

ミニトーク

「あなたには相談できる場所があります」

11:10~11:40

講師: 坂本はと恵 (国立がん研究センター東病院 サポートティブケアセンター / がん相談支援センター)

トークセッション

「子育て世代、働き盛り世代で"がん"になったらどうなるの?」

12:00~13:00

~治療、お金、仕事、家族など、がん体験者のぶっちゃけトーク~

by 一般社団法人キャンサーペアレンツ

みなさまから事前に回答いただいたアンケート結果をもとに、がん体験者がホンネでお話します。美談ではない、笑いを交えたリアルな体験談に触れていただき、少しでも身近にがんのことを感じていただければと考えています。

ミニトーク

ハイ博士の「あなたは大丈夫?」~受動喫煙のこと~

by NPO 法人 肺がん患者の会 ワンステップ

13:15~13:45

みなさん、7月、たばこの受動喫煙に関する法律が厳しくなったをご存知ですか?年間15000人の方が受動喫煙で亡くなっています。これは交通事故で亡くなる人のおよそ4倍。一体どんな害があって、私たちの生活はどう変化するのでしょうか。東京オリンピック・パラリンピックとも深い関係があります。受動喫煙に詳しいハイ博士がわかりやすく教えてくれます。

講演

「もし、がんになったらどうする!?'

~病気になる前のがんのイメージと現実のギャップについて~

講師: 押川 勝太郎 (宮崎善仁会病院 消化器内科) 【セッション共催: 中外製薬株式会社】

がんはうつるの?がんになると死んじゃうの?がんにかかるないようにするには?

薬の副作用がとてもつらいと聞くけど、本当のところはどうなの?

働き続けられるの?等々、がんに対する疑問はたくさんあります。でも本当のところ、どうなのでしょう?

実際の患者とカリスマプロガーがん専門医のトークセッション。

あなたの想像と、実際の患者はどれだけ違うか?それとも同じか?見てください。

クイズコーナー

親子でチャレンジ!「わかるかな?知ってるかな?がんのこと」

15:10~15:30

※全問正解者にはすてきなプレゼントあり(数量限定)

by 一般社団法人キャンサーペアレンツ

がんに関するクイズに、キミは全問正解できるかな?

全問正解すれば、おたのしみプレゼント(数量限定)があるよ。クイズを楽しみながらみんなでがんについて学びましょう!

講演

「知っておくべき、がん ホントのこと」

16:00~17:50

講師: 勝俣 範之 (日本医科大学 武藏小杉病院腫瘍内科 教授)

NHK 総合 「総合診療医ドクターG」などに出演の著名ながん治療専門医。

著書「抗がん剤は効かないの罪」「医療否定本の嘘」などで、巷にあふれる根拠がない情報への警鐘を鳴らしている。SNSでも積極的に発信する日本が誇る抗がん剤のエキスパートによる、がん医療のホントのこと。お聴き逃しなく!

※広場での企画

がん専門医による無料相談

グリーンループプロジェクト応援団、知る人ぞ知る、行列ができる「がんの名医」が、あなたの疑問・お悩みにマンツーマンで応えます!

①11:00~ ②12:00~ ③14:00~ ④15:00~ (先着4名/1人10分)
各回開始10分前に翼の広場テント脇にて受け付けます。

3Dプリンターによる「めでいガチャ」実演

医療機器を、思い出やエピソードとともに3Dプリンターを使ってミニチュアキーホルダーにしました。医療や病気に「親しみ」「知って」「考える」きっかけになればと願っています。



講演

10:00~10:50



「後悔しない、納得のいく医療を受けるために知っておくべきこと」

講師: 大野智 (島根大学医学部附属病院 臨床研究センター 教授)

【セッション共催: 中外製薬株式会社】

*NHK 総合「あさイチ」「クローズアップ現代」に出演!

朝日新聞医療サイト「アピタル」に連載もしている、今、注目の医師。

「がん」と診断された時、誰しも不安に襲われたり、将来のことについて悩んだりすると思います。そんなとき、気をつけるべきポイントをわかりやすく解説します。また、医療者とのコミュニケーションにおけるコツについても紹介します。

NHK総合「あさイチ」「クローズアップ現代」にも出演。世に溢れる情報に溺れてしまいそうな患者・家族に情報の見極め方を発信し続けている大野智先生。『結婚記念日を忘れた男性が妻から許されるためのエビデンス』というわかりやすい事例を使い、個々の状況、何を目指すのかにより最適は違ってくるということを解説。親しみやすい事例を用いたことで、多くの方が足を止め、吹き抜けの2階、3階からも講演に聞き入る方が多数いました。イベントのスタートとして大きな力となりました。



ミニトーク

「あなたには相談できる場所があります」

11:10~11:40



講師: 坂本はと恵 (国立がん研究センター東病院 サポートィブケアセンター / がん相談支援センター)

がんを告げられた時、孤独を感じるという意見が経験者から多く聽かれます。「あなたには相談できる場所がある」というテーマでの講演は、患者家族を支援する高額療養費制度。介護保険など、具体的な事例を織り込んだもの。足を止めて聞き入る方々から「このような制度の話を聞く機会は貴重」という好評の声が多く届きました。

トークセッション

「子育て世代、働き盛り世代で”がん”になったらどうなるの?」

～治療、お金、仕事、家族など、がん体験者のぶっちゃけトーク～

by 一般社団法人キャンサーペアレンツ

みなさまから事前に回答いただいたアンケート結果をもとに、がん体験者がホンネでお話します。美談ではない、笑いを交えたリアルな体験談に触れていただき、少しでも身近にがんのことを感じていただければと考えています。

事前の「がんに関する意識」インターネット調査では、全国20~60代の男女217名から回答を得ました。がんと聞いてイメージするものは50%以上が「死」。がんになったら不安に思うことの1位は「お金・治療費」。がん治療には3割の方が「つらい、苦しい」イメージを持っていました。



調査結果を紹介しながら、実際はどうだったのか? 子どもをもつがん患者、親の会「キャンサーペアレンツ」会員のがん体験者の皆さん、がんの告知から闘病を通して、家族や仕事、がんとどう向き合ったか、本音で語りました。会場には、ご夫婦で聴きに来られている方や、お子さんと参加している方もいて、時に笑い、ときにうなづきながら聞いておられました。就労世代のリアルなサバイバー人生を知っていただけたと思います。

がんと就労も、がん対策の大きな柱です。社会全体で理解を深めていくことが求められていると思います。

ミニトーク

13:15~13:45

ハイ博士の「あなたは大丈夫？」～受動喫煙のこと～

by NPO法人 肺がん患者の会 ワンステップ

みなさん、7月、たばこの受動喫煙に関する法律が厳しくなったのをご存知ですか？年間15000人の方が受動喫煙で亡くなっています。これは交通事故で亡くなる人のおよそ4倍。一体どんな害があって、私たちの生活はどう変化するのでしょうか。東京オリンピック・パラリンピックとも深い関係があります。受動喫煙に詳しいハイ博士がわかりやすく教えてくれます。



健康増進法の改正に取り入れられた受動喫煙防止対策。しかし、まだ多くの課題を残しています。受動喫煙防止はマナーや嗜好の問題ではなく、あなたの健康を守るためにものだということを伝えたい。医師が博士に扮し、クイズ形式も取り入れたセッションは、多くの子供も聞き入っていました。聴くだけでなく、参加型のセッションは、大きな理解に通じたと感じます。

講演

14:00~14:50



「もし、がんにならうしたらどうする！？」

～病気になる前のがんのイメージと現実のギャップについて～

講師：押川 勝太郎（宮崎善仁会病院 消化器内科）【セッション共催：中外製薬株式会社】

がんはうつるの？がんになると死んじゃうの？がんにからないようにするには？

薬の副作用がとてもつらいと聞くけど、本当のところはどうなの？

働き続けられるの？等々、がんに対する疑問はたくさんあります。でも本当のところ、どうなのでしょう？

ブログ、公開動画を通じて、多くの患者、家族の生の悩みに答え続けている押川勝太郎先生。今まで寄せられた、患者家族の悩み、疑問を用いて、具体的にセッションを進めていきました。押川医師が常に発信していることは、「医師とのコミュニケーションの取り方」。どうしても医師の前で固くなってしまう患者、家族の心理を理解しつつ「メモに書いて渡してもらうと医師に伝わりやすい」「わからないことを伝えないと、医師は理解していると思ってしまう」など、医師の立場からの思いは、医師と患者家族がお互いに距離を縮めていくための理解につながったことを感じます。病院にかかったことがない人はいません。押川医師の話は、がんに限らず、医師との接し方、納得への道をわかりやすく示し、多くの方がうなづいて聴いていました。



クイズコーナー

親子でチャレンジ！「わかるかな？知ってるかな？がんのこと」

※全問正解者にはすてきなプレゼントあり(数量限定)

by 一般社団法人キャンサーペアレンツ

がんに関するクイズに、キミは全問正解できるかな？

全問正解すれば、おたのしみプレゼント(数量限定)があるよ。クイズを楽しみながらみんなでがんについて学びましょう！

① がんになるのは、日本人の2人に1人？		⑥ 運動不足、お酒の飲みすぎは、がんになりやすい？	
② がんになったら、もう治らない？		⑦ がんは、他人に伝染する病気である？	
③ がんになったら、仕事や旅行には行けない？		⑧若い人は、がんにはならない？	
④ がん検診に行ってると、がんにはならない？		⑨ がんの治療では、必ず髪の毛が抜ける？	
⑤ たばこを吸うと、がんになりやすい？		⑩ がんには多くの種類があり、治療も様々である？	

がん対策の施策の一つとして、「がん教育」の必要性が叫ばれています。このセッションでは、こどもを持つがん患者の会「キャンサーペアレンツ」により、子どもたちに、親子で楽しく「がん」について考えてもらう機会にしました。20組ほどの親子が参加してくれました。1問1問、ステージから「わかるかな？」との問い合わせに「ハイ！」と元気よく答える子どもたちの姿に、がんと向き合える社会の未来が見えたように感じます。参加してくれた子どもたち、全員が全問正解、「めでいガチャ」がご褒美でした。

講演

16:00~17:50



「知っておくべき、がん ホントのこと」

講師：勝俣 範之（日本医科大学 武藏小杉病院腫瘍内科 教授）

NHK総合 「総合診療医ドクターG」などに出演の著名ながん治療専門医。

著書「抗がん剤は効かないの罪」「医療否定本の嘘」などで、巷にあふれる根拠がない情報への警鐘を鳴らしている。SNSでも積極的に発信する日本が誇る抗がん剤のエキスパートによる、がん医療のホントのこと。お聴き逃しなく！

NHK総合「総合診療医ドクターG」への出演、著書を通じ、世にはびこるがん医療への誤解を解くべく日夜、発信を続ける勝俣範之先生。「がんになっても、あなたの毎日を変える必要はない」ということを、食べ物、旅行、仕事、結婚にいたるまで、具体的な事例を挙げて解説。さらにQ&Aを用いて、対話形式で聴く人を惹き込んでいきました。「大きな病を前にして、前向きになんかならなくていい。不安は、どんなことも医師に伝えて」という言葉に涙する方もいました。イベントのラストは、患者さんの詩に勝俣医師が曲をつけたオリジナル曲3曲のライブ。多くの方が足を止め、吹き抜けの2階、3階からも一緒に歌ってくれました。一般の方にもがんを知つてもらいたいというイベントの締めくくりとして、会場が一体となったフィナーレでした。



がん専門医による無料相談

グリーンルーペプロジェクト応援団、知る人ぞ知る、行列のできる「がんの名医」が、あなたの疑問・お悩みにマンツーマンで答えます！

①11:00～ ②12:00～ ③14:00～ ④15:00～（先着4名/1人10分）
各回開始10分前に翼の広場テント脇にて受け付けます。

宮崎県から本イベントのために駆けつけてくれた押川医師と、イベントの最後、歌で会場を盛り上げてくれた勝俣医師。がん医療環境向上のために、全国各地を奔走する2名の熱いがん専門医が、無料相談に対応してくれました。

4回に分け、1人10分、2名の医師で、20名の患者さん、ご家族の方のご相談に対応いただきました。エビデンスのない治療法に傾倒する家族（患者）にどう向き合ったら良いのか、という相談もあり、多くの方に、この貴重な機会をご活用いただくことができました。先生方、講演に相談に休みなくご協力いただき、ありがとうございました。



3Dプリンターによる「めでいガチャ」実演

医療機器を、思い出やエピソードとともに3Dプリンターを使ってミニチュアホールダーにしました。医療や病気に「親しみ」「知って」「考える」きっかけになればと願っています。



がん経験者や医療者がお世話になった医療機器を、思い出やエピソードとともに3Dプリンターを使ってミニチュアホールダーにしガチャガチャに。大事なことなのに社会との距離感がある「医療」と「患者の視点」。

3Dプリンターの持つ未来感とガチャガチャという楽しさとワクワク感のある仕掛けをつかって、その距離を縮め、自分事としてみんなで医療と患者の気持ちについて「知って、考える」企画。3Dプリンター実機も2台展示し、制作デモンストレーションも行いました。多くの親子連れが、関心をもって立ち寄ってくれました。



【共催団体】

認定NPO法人希望の会



一般社団法人キャンサー・ペアレンツ



【参加者概要】 共催各患者会より、がん患者、家族、遺族ら、約25名がボランティアスタッフとして参加。各セッションには30-50名を超える方が参加し、立ち見、2階・3階からの視聴もありました。50組以上の親子連れにも立ち寄っていただきました。各企画への参加の合計のべ人数は、概算で400名を超えていると考えられます。

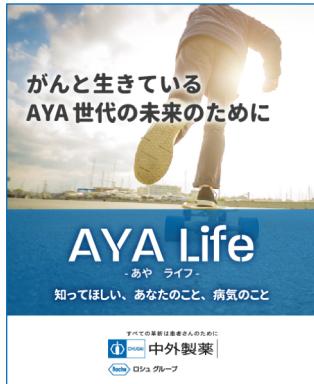
【Special Thanks】 ご支援をありがとうございます

総合司会：フリーアナウンサー 石森 恵美（いしもり えみ）



東海ラジオ放送 報道部アナウンス課に6年勤務ののち上京。
フリーとなり、東京では高橋圭三プロダクションに所属。
結婚を機に静岡県磐田市に住み、現在は、地元FM局でのニュースを担当。
そのほか、カルチャーセンターでの朗読や読み聞かせ等の講師を務める。
2010年10月に夫を、2011年6月に夫の姉を、2012年6月に夫の母を、相次いですい臓がんで亡くす。すい臓がんの知識を持たないまま、僅か5ヶ月で夫を見送ったことへの後悔や絶望と向き合いながら、患者、家族、遺族との気持ちの分かち合いを第一に考え、活動している。また、「がん」を通して生きることを伝えたいと、講演活動も行っている。

セッション共催



バナー広告協賛



「生きる」を創る。Aflac

APEX Medical, Inc.

いよいの村 ヘリテイジ 美の山

NPO法人肺がん患者の会ワンステップ



【運営事務局】 メディカル・モバイル・コミュニケーションズ
(M2CC)

MISSION

日々進歩を続ける医療（がん医療）のことを
患者さん・ご家族・人々に
より「優しく」、より「わかりやすく」つたえること。

VISION

私たちが提供するサービス、コンテンツにより
患者さん・ご家族・人々、そして医療（がん医療）に関わる人々も
より楽しく、より幸せになること。

展示協賛

展示協賛

リリー・オンコロジー・オン・キャンパス[®]
がんと生きる、わたしの物語。

協力 「めでいかるガチャガチャ」

タカラコクリエイト

特別協力 音響・舞台設営

Until until make it!
株式会社アンティル

みんなで話し合った結果、決めた場所が、
日本一、世界で2番目の規模のモールであることは、あとからわかったこと。
'がん'というテーマでのイベントを、買い物に来た人たちはどう感じるのか。

不安はいっぱいありました。

やってみてわかったこと。

'がん'を他人事だと思っている人は少ない。

ちょっと離れた位置で立ち止まつたり、吹き抜けの2階、3階から覗いていたり。

その人たちが、だんだん近くに来て、私たちにも話しかけてくる。

ちびっこ対象のクイズでも、ほとんどの子どもが、

たばこのことも、検診のことも、生活のことも、『はーい』と答えてくれる。

この数年、いろいろな人が、いろいろな場所で発信し続けたことは、

ちゃんと芽を出していることを強く感じた一日でした。

芸能人のイベントをやるような場所で素人の私たちが開催を実行するのは、

正直、あまりにも無謀な挑戦。

何度も壁にぶちあたり、心が折れかかる度に、趣意に賛同して助けてくれる人が現れた。

これは奇跡に近いこと。

『これは、命のリレーなんだ。バトンを受け取った私たちが次に繋げて行く。

言葉に尽くせない感謝を表す方法は、行動しかない』

何度も、その思いが湧き上りました。

『次はいつですか？』『またやってください』という声をいっぱいいただき、

奇跡のキックオフだったけれど

次に確実に繋げていこうという勇気を、私たちがいただきました。

継続は力なり！

同じ思いを持つ仲間が増えていくことを願って、私たちの挑戦は、

『はじめの一歩』を踏み出せました。

グリーンループプロジェクトを応援してくださったすべての皆様、参加してくれた方々に、
改めまして、心から感謝申し上げます。どうかこれからも引き続き、私たちのチャレンジを
見守っていただき、応援していただきますよう、お願ひ申し上げます。

